

# 道路警戒標と道路方向標

## 大阪府土木部道路課

旅の子の行方を指示する道標も時代と共に變遷し、色々の形態に建てられていたが、大正九年道路法の實施に伴ひ、大正十一年省令第二十七號で、其の様式を一定せられ、全国津々浦々路傍に其の建設を見る様になつた。ところが建設してある道標を見るに、或ものはへしまけられ、或は雨露に晒されて記載の文字も判明せず、何等の効果もなきものとなり、かへつて醜骸を路傍に晒す慘めさ、ことに建設者の一定せぬ所では、建設者の御都合主義に禍せられ、交通上必要な個所に建設を見ない結果を招いている、然るに近時高速度交通機関の發達著しく、昭和三年十月施行した交通調査と、本年八月施行した交通調査とを比較する時、緩行車輛は漸減の趨勢を辿れるに、自動車等の高速度車輛

は數倍の増加率を示す有様で、交通事故防止上、警戒標の如き最も其の建設の急に迫られているものと信するに不拘其の建設は寥々たるものである所から、何とか道行く人によく目に付き、危険を防ぎ、行先を誤らしめず且容易には破壊せらるゝことなく、道標の目的を充分達せらるゝものを建設することが、時代の要求に順應した措置であるとの考から、所定の様式に多少の手心を加へ、道路警戒標と道路方向標を、管内必要の個所に建設することになつた。其の仕様は左の通である。

### 道路警戒標

從來各地に建設せられているものは、三角板及警戒板を

一邊五纏位の「アングル」に取付けある様であるが、實例に徴し「アングル」では第一脆弱であつて、當地の如き交通繁盛な土地に於ては、トラック等の衝突による損傷を受くることは火を見るより明かであり、子供の惡戯のみで頑



具のサーベルの様にまげられて終るものさへあり、又路傍に建てたものとして美觀と云ふ點をも考慮せねばならぬ。故に美にして堅を目的として柱を外徑五纏、長三・〇三米の瓦斯パイプに改め、取付は總て電氣熔接としパイプ



ぎ、半永久的のものにした。  
尚晝間は警戒標記載の文字にて警戒地點を知り得ると、夜間は警戒標の存在を認識に苦み、引いては警戒個所に対する注意喚起に影響多かるべしとの考から、試に三角板に

の表面は「ズボイド」を塗抹した。頂部に附けてある三角板は赤、警戒板は黒地に白を以て文字及符號を表し、且文字は日本文字のみに止めず左圖の通り 80m と數字を以て距離を表示し、何れも磁磚焼付とし、雨露による災を防

「レフレックスレンズ」十一個を取付けこれが多少の光線

を浴びたる場合、燐然として輝き、警戒標の存在を知らし

むる方法を講じた。標柱建設に當り其の基礎は三十纏

角、深さ六十纏、配合一・三・六のコンクリートにて堅め、

地上二十二纏の 道路警戒標設計圖（踏切分）（纏単位）

間を外径十五纏

の根巻コンクリ

ートを施し、補

強として十番鐵

線を螺旋形に卷

きたる鐵筋を挿

入し、標柱の倒

折なきを期した。

一本建設に要し

た費用は七圓五十錢で、夜間警戒に最も効果ありと信ずる

「レフレックスレンズ」一個取付共に其の費用九錢、一警

戒標に十一個取付あるに付其の費用は一圓に當り、其の費

用も全部合算した金額が上記の建設費である

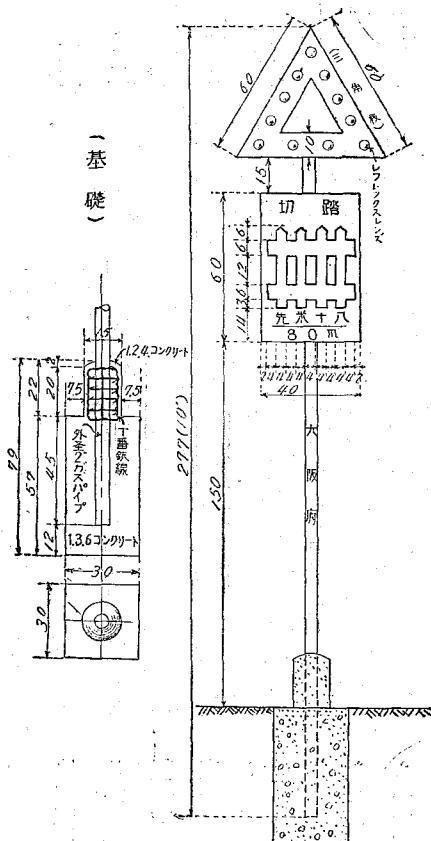
## 道路方向標

方向板は所定の様式によれば白色であるが、白に黒は餘りに色氣がなさすぎるし汚れも早く、親みもな

いから多少柔かい感のする色で

一層目立つ色を採り道路の美化

をも考へて板を黄色とし。文字及方向矢を黒色、



にて記載全部磁磚焼付にした、裏面は一面「ズボイト」を塗抹し鐵板素地の腐朽を防ぐことにした。取付は警戒標と殆ど同様で、十字路に建設の分は外径五纏、長三・〇三米

の瓦斯パイプを柱とし、上下二箇所を幅五瓣厚三粍の帶鐵

四十五錢である。

を電氣溶接し、方向板をとの帶鐵に「ボーレット」を以て取付け、又丁字路の分は從來三方共同一個所に取付けてある爲め、各方向を同時に知悉すること困難であるのみならず縱の板の下部低き結果、交通上支障ある様見受らるゝを以て、之れを左圖の横の板の上部に取付け其の障害を除くことにした、從て高さも一層高くなり標柱は四・二四米のものを使用した。基礎工は大體警戒標と同様の仕様により只



標柱其他工作物の關係上、丁字路の分は四十五瓣角、深七十五瓣、十字路の分は三十瓣角、深七十五瓣配合一：三：六のコンクリートを施したのが相違しているに過ぎない他は警戒標同様である、一本當の建設費も十字路の分九圓四十五錢、丁字路の分は十四圓

あり、効果あること、信じて、斯界識者の御批評を受け其の指導により、改良を加へ理想に近いものとし數年の間に建設を必要とする個所に建設を了し、以て交通者に何時迄も便宜を與へ得るものと考へて、いる。

右の方法で建設を要する個所二千箇所の内最も急を要すると思つて居ないことに所定の様式に準據しない建設方法は、或は内務省の御叱を受けかも知れないが、耐久と美觀と實用の三點に立脚し、考究の結果「レフレックスレンズ」の取付瓦斯パイプの使用方向板の色並取付等に新機軸を加味し試みとして實施したもので、良否に付ては適確には云へないが、相當有意義で

道路方向標設計圖

(煙單位)

